



K.UNO NEWS LETTER

Vol. 33

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



人と動物が幸せに暮らす社会を目指し 「スマイルアニマルプロジェクト」を実施 動物福祉団体へ売上の一部を寄付

「想いをカタチに」をコンセプトに、人とジュエリーを有機的に結ぶブランドケイウノ。人だけでなく自然界そのものを豊かなものにしていくために、社会貢献にも力を入れています。その一環として2019年9月20日から10月20日まで「スマイルアニマルプロジェクト」を実施、動物やペットをモチーフにしたオー

ダーメイドジュエリーの売上金額の一部を公益社団法人「アニマル・ドネーション」に寄付しました。
アニマル・ドネーション代表、西平衣里さんと、プロジェクトのチームリーダーであるケイウノのデザイナー、浅川浩子に、ペットジュエリーからつながる動物福祉の現状について話を伺いました。



公益社団法人アニマル・ドネーション
西平衣里さん(右)と浅井暁子さん(左)

ケイウノのペットジュエリーは動物への愛がつまった宝物。
「スマイル アニマルプロジェクト」による出会いは今後につなげる第一歩、と笑顔で話すお二人

エシカル消費実現のため 社会貢献プロジェクトを始動

「Smile Animal Project (スマイルアニマルプロジェクト)」とは？

浅川…環境省が定める動物愛護週間(9月20～26日)にちなんでケイウノができることはないかとデザイナー達で話し合った結果、動物・ペットジュエリーの売上の一部を動物福祉団体へ寄付することを提案し実現に至りました。2019年9月20日～10月20日の1カ月間の企画で、来店したお客様にはケイウノのデザイナーが描き下ろした「オリジナルイラスト入りのサブレ」、ご成約特典として「デザイナー画フォトフレーム」をプレゼント(税込5万円以上ご購入いただいた方)しました。

西平…ご寄付をいただきありがとうございます。私達は、動物福祉活動を行う団体と寄付を通じて団体を支援したい人をつなぐ日本初の寄付サイトを運営し、総額1億3千万円の寄付を集めています。今回いただいた



animal donation

動物福祉活動を行う日本初の寄付サイト

寄付金は、アニマル・ドネーション（以下、アニドネ）に登録している20団体へ、主に医療費として寄付をさせていただきます。今回の寄付で、約40個分のワクチン接種が可能になりました。このような社会貢献は以前から行われているのですか？

浅川：実は、利益の一部をユニセフや国境なき医師団に寄付しています。最近特に、代表の久野がSDGs（持続可能な世界を目指した国際目標）、サステイナブル社会（次世代まで維持できる社会）、エシカル消費（買物を通じて社会が抱える問題を解決する一部を担うこと）に意欲的で、ケイウノの強みを活かした社会貢献を探して少しずつ前に進んでいるところです。前回は、ネパール支援のクラウドファンディングプロジェクトのリターン品としてジュエリーを提供しました。この活動では、小型の水力発電機を設置し、電力不足地域の子どもや女性支援を目標として成功しました。

西平：なぜ今回は、動物福祉に注目されたのですか？

浅川：近年ペットジュエリーのニーズが高く、オーダーをいただく機会が増え、お話を伺うことでペットの背景にある事情を知ったことがきっかけです。ケイウノでは創業当時から動物をモチーフとしたジュエリーをお作りしていますが、2018年2月22日（猫の日）からは「ペットジュエリ

ー」として、他ではできない繊細な技巧を凝らしたオーダーメイド商品を展開しています。デザイン性と高い技術力で喜んでいただくだけでなく、ペットジュエリーの向こう側にある動物の問題の支援ができないかと考え、動物福祉に着目しました。

西平：なぜアニドネを選んでいただいたのですか？

浅川：ケイウノとアニドネのコンセプトが「想いをカタチに」と、気持ちをカタチに」と大変似ていたことが大きな理由です。また、さまざまな企業とコラボされ意欲的に新しいことに取り組まれていることや、西平さん自身が輝いていたことが大きかったと思います。自分の仕事に誇りを持っている姿を見て一緒に取り組みたいと思いました。



Smile Animals♥Project

9.20 (Fri) ~ 10.20 (Sun)



売上の一部をアニマルドネーションに寄付、動物福祉の認知度アップに貢献

欧米に比べて遅れをとる動物福祉 日本の現状をまずは知って欲しい

ー日本が抱える動物福祉の問題とは？

浅川：ケイウノでは、お客様のお話を伺いデザイン画を起こしています。ペットとの心温まるエピソードを聞くなかで、「保護犬」「保護猫」といった言葉を耳にすることが増えました。あるブライダルリングをオーダーされたお客様は、リングの内側に愛猫のデザインを入れて欲しいとご要望があり、お話しを伺ったところ、その猫はお相手さまが保護団体からお迎えしたとのこと。

西平：保護犬、保護猫というのは、飼い主の事情、ブリーダーの崩壊、犬猫の出産などで行政に収容され保護団体がレスキューした犬猫のことです。保護団体がメデイカルチェックやワクチン接種を行い、里親を見つけて新しい飼い主さんへ渡しています。保護犬や保護猫を知る人は増えてきましたが、日本はまだ動物福祉において欧米に比べて遅れをとっています。お金があれば救える命があることを知っていただき、認知を広げ寄付を増やしていきたいと思います。そのために今回のプロジェクトは、とても強い力となりました。

浅川：欧米の動物事情はどのようになっているのですか？

西平：アメリカにおいては、動物関連



ケイウノとの出会いを大切にしたいと語る西平さん

の寄付金が全体の上位に上がっています。また、ヨーロッパでは、ペットに限らず動物全体の保護に力を入れていきます。

浅川…そもそも、西平さんはどうして動物福祉を仕事にしているのかと思ったのですか？

西平…子どもの頃から動物が大好きで猫や鳥を飼っていました。ある時、東京都の動物愛護センターへ企業のセミナーで訪れた時のことです。毛並みがいい猫が運ばれてきて、ゲージの中から私にすり寄ってきました。メンタルも落ち着いていて、きつといい飼われ方をしていたのだとひと目で分かりました。飼い主さんが高齢で入院をしなくてはならないという理由で行政へ運ばれてきたそうです。その時、猫も飼い主も両方救いたいと強く感じました。ペットと一緒に過ごす健康になり



ペットの名前と、誕生石シトリンを入れたジュエリー

長生きをするというエビデンスが世界中で発表されています。独居老人が問題になっていますが、高齢になってもペットを手離さなくてもいい仕組みを作りたい、動物が救われれば人も救われると信じ、次のフェーズとして人と動物の共存を目指しています。

ペットへの想いをこだわりのジュエリーへ ケイウノの職人にしかできない繊細なフォルム

ープロジェクトの反響は？

浅川…今回のプロジェクトは反響が大きく、その期間を目指してオーダーにいらした方や、終了後に知った方は「今度はいつですか？」とお聞きになります。初めてのことであったので心配もありましたが、このプロジェクトを通してケイウノとアニドネ、そして動物福祉を知るきっかけとなったことに成果を感じています。

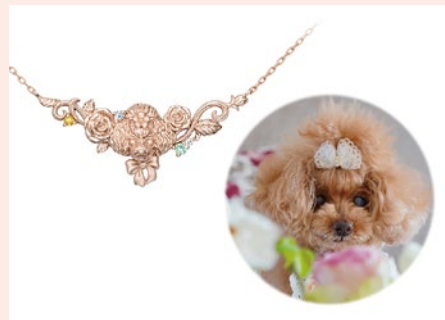
西平…動物福祉に貢献したいという気持ちの方は多いものの、どこで何をしたらいいのかわからないようです。今回のプロジェクトでアニドネを知っていただいたことは非常に有意義だったと感じています。

浅川…インスタグラムにあげている当社のペットジュエリーを気に入る、プロジェクトを知っていただいたケースもありました。ご来店いただく、デザイン画を目の前で描き、毛並みや表情まで表現できる職人の技術力に大変驚かれます。

西平…表情や毛並みまで表現できるのは、飼い主にとつてとても嬉しいことです。既製品とは違い「自分の子」になるわけですから、喜びも大きいと思います。私も初めてケイウノのジュエリーを見たときは、その繊細な技術とデザイン性の高さに驚きました。

浅川…犬猫にかぎらず、鳥、フェレットうさぎ、トカゲ、ヘビまで、ペットに

こだわらずアニマルというカテゴリーでしたので、さまざまな動物をデザインしました。年間4万種類のジュエリーを作り、約150名の職人が技術を駆使していますので、どのような動物も、ストーリーとともにジュエリーとして形にすることができます。



デザインと技巧テクニックが光るふわふわの毛並みのトイ・プードル(右)、リス(左)ジュエリー

人と動物、自然界そのもののストーリーを カタチにし、社会貢献へつなげたい

— 今後の活動の予定や目標は？

西平…アニドネの目標とするとところは、寄付を集めるだけではなく、動物福祉をより多くの人に知っていただき、人間と動物が真に共生できる社会を築くことです。人にも動物にも負担がなく、より調和した社会を目指しています。その一環として、「レガシーギフト」(遺贈寄付)という、幸せをくれた動物達に恩返しをすることを目的とした取り組みを始めました。

浅川…とても素敵な取り組みですね。ケイウノでも「スマイルアニマルプロジェクト」の第2弾を行うか、または違った形で動物福祉に関わりたいと考えています。SNSなどでペットに関するストーリーを募集して、ストーリーに合わせたデザイン画を描く企画も検討しています。ストーリーをジュエリーで表現するのは、ケイウノならではの強み、ジュエリーならアルバムを開くより、手軽にそのストーリーを思い出すことができます。身に着けるだけでなく、インテリアとして楽しめる方もいらっしゃると思います。

西平…お別れしてしまったペットとの思い出にも役立ちますね。思った以上にダメージが大きいペットロスの問題に対しても、ケイウノさんのジュエリーが沈んだ心を支えられるのではないかと感じています。

浅川…お客様のお話しを伺っていると、こちらも感情移入してしまうことがほとんどです。だからこそ、その思いがデザインに表れるのだと思います。描き始めると、多くのお客様が前のめりになってデザイン画を見てくださいますし、出来上がったときは感動して涙を流す方もいらっしゃいます。

西平…動物福祉もエモーショナルな世界だと感じています。だからこそ今回のコラボはうまくいったのかもしれないですね。すてきなご縁をありがとうございました。

浅川…今後もまた一緒にさせていただきたい。ありがとうございます。



デザイナーと熟練した職人の技術で動物の種類を問わず細部まで表現できるのがケイウノの強み

1月の誕生石「ガーネット」

深く鮮やかな赤い色が人気のガーネット。色は赤以外も存在しますが、ガーネットでイメージするのは、この赤い色。ざくろに似ていることから日本では「柘榴石(ざくろいし)」とも呼ばれています。

ケイウノのオリジナルジュエリー「Fiorello(フィオレロ)」は、イタリア語で「小さな花」を意味します。シンプルながら実は技巧に富んだケイウノならではのオリジナルデザインがまるで花を咲かせているようです。この花が成長、そして実りへと導いてくれるようです。

